

「富国有徳の理想郷—しずおか」を目指して・・・

第23号

県庁のしごとと改革ニュース



「速く」、「ムダなく」、「いい仕事」

25年度の「ひとり1改革運動」の取組成果を御紹介します！

静岡県では、職員一人ひとりが自ら考え、身近なところから改革・改善を実践する「ひとり1改革運動」に取り組んでいます。

この運動は平成10年度から始まり、これまでの取組件数は約18万1千件となり、経費の節減や時間の節約、県民サービスの向上に大きな成果を上げています。

平成25年度 16,443件の取組効果

32億768万円 + 28人 + 8,013件

節約と経済効果

15億2,064万円の事務経費を節減

(例) 県庁クラウドの運用によりサーバー集約化を進め機器調達のコストを節減

5万8,704時間の事務時間を節約 (職員28人相当)

(例) WEB会議システムの導入により移動時間の短縮を実現

16億8,704万円の経済効果が発生

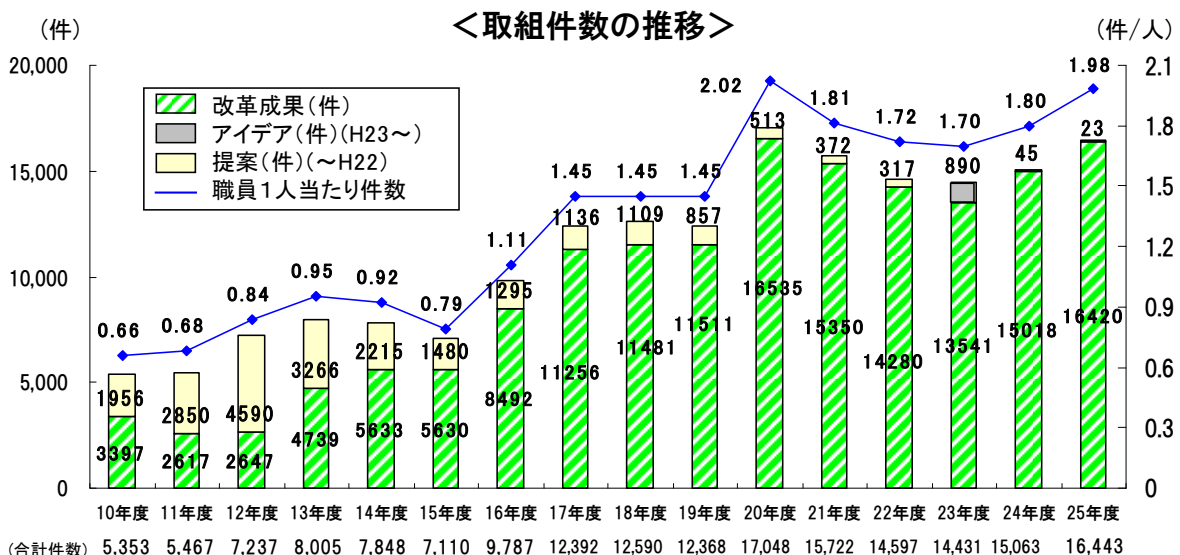
(例) 県立美術館の企画「草間彌生」展の広報を企業と連携した多面的な広報を展開し、目標を上回る観覧者数及び観覧料収入を実現

県民満足度の向上

県民の皆様の満足度が向上した取組 **8,013件**

(例) ・県内の就職活動イベント情報を県HPに集約して掲載し学生の情報収集時間の短縮を実現
・公共データの二次利用を促す専用のサイトを開設し、公共データを誰もが自由に使い加工しやすい形で提供

※ 効果額等は、取組成果のひとつの目安として、見込みも含めた各所属の自己申告値を集計したものです。



※以下の取組所属名は平成 25 年度のものです。

最優秀賞 <安全・安心・危機管理大賞>

県産木材活用による災害復旧コストダウン&景観・自然度アップ

浜松土木事務所工事課 工事班

河川の災害復旧工事に、従来は自然環境に不利なコンクリート系の工法が多く選択されていました。

そこで、ライフサイクルコストの点に加えて、自然環境と調和した景観創出や生物の生息環境の改善を重視し、木材を利用した木製護岸工法を採用することにしました。

その結果、従来の安全性を維持したうえで、1,200万円(50年間)の経費節減と昨年度比約3倍の県産木材の利用促進が図られました。

ライフサイクルコストを取り入れた工法検討



木材を利用した護岸 (写真: 右)

優秀賞 <ユニバーサルデザイン大賞>

「子育ては尊い仕事」～全国初の仕組みづくりに挑戦～

健康福祉部こども未来課 子育て支援班

「子育て」は人間として最も尊い仕事であり、社会的にも評価されるべきですが、現実には多くの母親等が子育てに対する不安感、孤立感を感じ悩んでいます。

そこで、保育士資格取得へのチャレンジや子育て経験を製品開発へ活用する等の仕組みづくりを行いました。

その結果、子育てを活かした母親の社会参加の促進及び母親の不安感・孤立感の解消に貢献しました。



育児中の母親による活動補助の様子 (絵本の読み聞かせ)

優良賞 <広報グランプリ大賞><会場奨励賞>

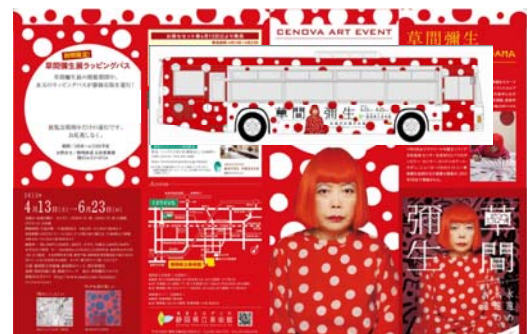
究極の官民連携!! 県立美術館×セノバ 草間彌生展タイアップ企画

県立美術館総務課 総務班・管理班、学芸課

県立美術館の「草間彌生」展は若い世代がターゲット層ですが、これまで若い世代の来館者比率は低く、ターゲット層への広報展開が必要でした。

そこで、新静岡セノバ、静岡鉄道との連携により、若い世代を中心に「cenova Style での告知」「展覧会チケットと鉄道の1日フリー乗車券のセット販売」等の多面的な広報を展開しました。

その結果、美術館の観覧者数及び観覧料の収入が目標の1.5倍以上になる等の効果につながりました。



セノバ館内リーフレット

<みんなで取組大賞>

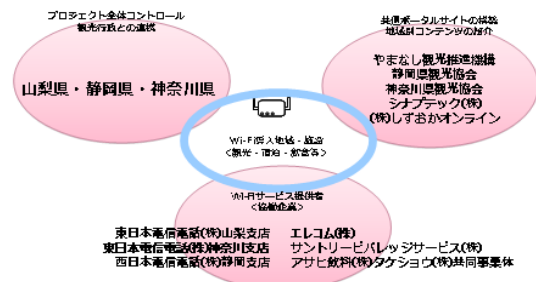
Fujisan Free Wi-Fi プロジェクトの発足

外国人旅行者が希望するWi-Fi整備が富士山周辺で課題となっていました。

そこで、山梨県や神奈川県、民間企業等とプロジェクトを発足して富士山周辺のWi-Fi整備を進めました。

その結果、10ヶ所以上のアクセスポイントの設置により富士山周辺でのWi-Fi利用を可能にし、外国人旅行者の利便性向上を実現しました。

文化・観光部観光政策課 企画班



推進体制のイメージ

<県民負担の軽減・規制緩和大賞>

都道府県で初めてオープンデータの専用サイトを開設!

企画広報部情報政策課 情報政策班

HP等で公表されている公共データは基本的に加工できない「PDF」形式で、データを二次利用する場合には制約もありました。

そこで、誰もが公共データを自由に使い、加工しやすい形で提供することを目指し、全国の都道府県に先駆けてオープンデータの専用サイトを公開しました。

その結果、公開したデータからアプリケーションの作成等が可能となり全国から大きな反響がありました。

また、職員でサイト構築を行ったことから約3,000千円の費用削減が図られました。

8月27日「ふじのくにオープンデータカタログ」公開!



専用サイトの画面

<予算節減努力大賞>

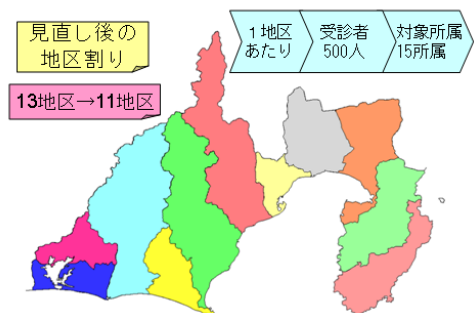
教職員健康診断費の削減

教育委員会事務局福利課 厚生班

生活習慣病健診は、職員数や対象所属が多いことや学校ごとに検診車が回る必要があることから随意契約により実施していました。

そこで、各健診機関への説明を行ったうえで契約方法を制限付一般競争入札に変更し、また受診対象者の地区割りを再検討して13地区から11地区に減らすことにより見直しを図りました。

その結果、約900万円の節約につながり、また経費削減分での健康診断項目の増加を行い、健診の充実化も図りました。



見直し後の地区割り

<県民サービス向上大賞>

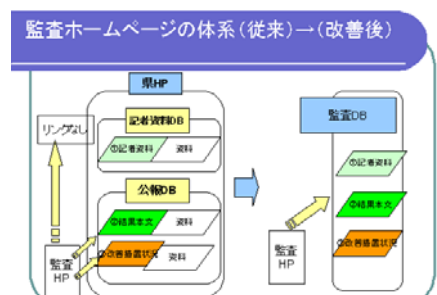
ホームページ監査結果の掲載方法の改善

監査委員事務局監査課 特別監査班

住民監査請求等の監査結果のHP公表は、他所属も利用する県公報ページで掲載していたので、該当ページの検索に時間がかかっていました。

そこで、課HPに掲載用ページを作成するとともに、PDF版に加えて過去の監査結果も含めてワードファイル版でも公開しました。

その結果、閲覧者の該当ページを探す負担の軽減と監査結果の二次利用における利便性を向上させました。



監査ホームページ体系イメージ

<見える化・情報発信大賞>

Twitter を活用し、安く・早く・手軽に情報提供

交通基盤部道路企画課 計画班

富士山登山シーズンにおけるマイカー規制について、乗換駐車場の利用状況は現地に来なければ分かりませんでした。

そこで、Twitter を活用し、乗換駐車場の利用状況の提供を行いました。

その結果、来訪者はスマホや携帯電話等を利用し駐車場の利用状況を事前に確認できるようになり、旧盆時期には利用者の約 28%の方に活用されるなど利便性が向上しました。



携帯・スマホ画面

<仕事の進め方の見直し大賞>

研修を受講しやすい環境づくり

経営管理部人事課 人材育成班

職員研修では、より多くの職員に受講の機会を提供することが班の課題でした。

そこで、班内ミーティングでアイデアを出し合い、受講者の利便性を高めるため、従来の自治研修所のほかに下田総合庁舎での研修実施や次代を担う女性職員の交流の場づくりの開催などの改善に取り組みました。

その結果、受講者数が昨年度の約 1.1 倍となる等、受講しやすい環境づくりを推進しました。

女性職員講座

『今、そして『未来』を見つめる2日間
女性職員ステップアップ講座
2013.8.6-7



女性職員講座の様子

<IT活用大賞>

WEB 会議システムによる事務効率化の実現

経済産業部研究調整課 研究推進班

研究計画を策定するにあたり、担当者を一ヶ所に集めて会議を開催していましたが、研究所が県内各地に存在し、担当者は半日～1日の出張となるため、日程や時間の調整が大変でした。

そこで、当課と研究所をインターネット回線で結ぶWEB会議システムを導入しました。

その結果、日程や時間の調整が容易になるとともに、各担当者の移動に係る時間やパソコン上での資料共有化による印刷代の削減が図られ、約 1,118 千円の費用削減効果がありました。



WEB会議の様子

静岡県 経営管理部 行政改革課

〒420-8601 静岡市葵区追手町9-6 電話：054-221-2912 FAX：054-221-2750
E-mail gyoukaku@pref.shizuoka.lg.jp <http://www.pref.shizuoka.jp/soumu/so-030a/>

平成26年4月発行